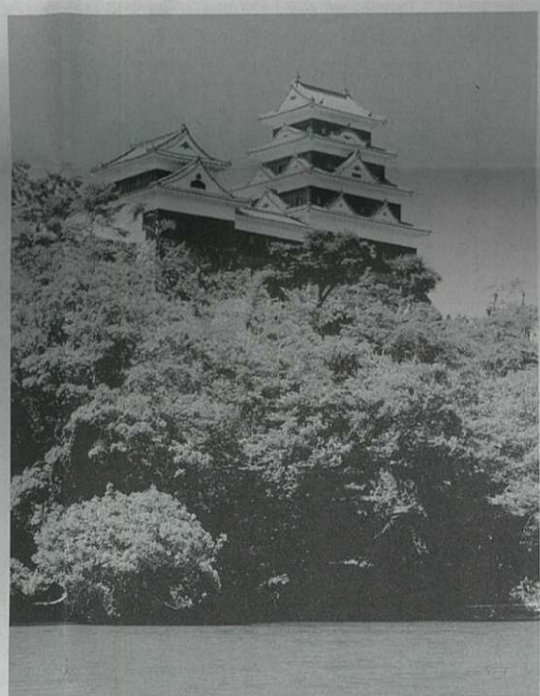




城主体験。男性は甲冑や袴（かみしも）など、女性は和装して天守に入る計画

城主気分

宿泊者には藩主菩提寺参拝後、鉄砲隊の歓迎などを受けて天守に「入城」してもらい、薪能鑑賞や地元食材を使った食事などの後に天守1階で就寝、翌朝は朝食後に城を出て城下町を散策してもらおう。駅や空港からはリムジンで送迎、甲冑（かっちゅう）や和装で城主気分を体験してもらい、夜はナイトクルーズなども検討。1組100万円前後の料金を想定する。



大洲城「城泊」宿泊場所となる天守外観（大洲市観光まちづくり課提供）

大洲

一方、天守での宿泊バリユーマネジメントを検討するのが愛媛県大洲市の大洲城。肘川のほとりに建つ木造4階建ての天守は2004年、明治期の取り壊し時に残された石垣や一部の櫓、江戸期の絵図や明治の古写真、天守雛形（ひながた）などを基に復元された。こちらは大規模改修を進めている。

